

# 岡本こうき 選挙立候補インタビュー

6月27日 公開

以前のインタビュー（都政報告・政治活動）は、  
<http://okamoto-koki.tokyo/images/interview0607.pdf>  
をご覧ください。

**Q1 6月25日に都議会議員2期目に立候補されました。立候補の理由と決意をお聞かせください。**

A 4年前、「利権政治・しがらみ政治と闘う」を掲げて選挙に立候補し、おかげさまでこの4年間にある程度成果を上げることができました。私は自身の公約「受動喫煙防止条例」を早々に達成・実現しましたので、2期目の立候補はせずに弁護士専門や別の道に進むことも選択肢として考えていました。

しかし、この1年間コロナ禍の都政に携わり、引き続き私の能力や経験やキャリアを都議会議員として活かすことが、世のため人のためになると考えて、立候補を決意しました。

私自身、「医」分野に強みのある「弁護士」（前回インタビューQ9）として、知識・経験・人脈等を活かし、コロナ対策と経済・社会活動復活の両立を図って参ります。

また、これまで4年間、小池知事との強力な連携により都政改革を進めてきましたが、その改革を停滞・混乱・逆戻りさせてはならないという思いも持っています。私たちが目指す都議会のあり方は、知事と対立・停滞する議会ではなく、知事と政策面で善政競争し、都民生活を一層向上させる都議会・都政です。

小池都政を一層都民生活の向上につなげる都議会議員として働く所存です。

こうした考えから、二期目の立候補を決意いたしました。



**Q2 今回の都議会議員選挙の争点は？**

A 総括的に言えば、

- ・国政追随、国の出先機関のような都政に戻ってしまうのか？
- ・批判ばかりで現実的な具体策を欠いた政治を目指すのか？

それとも、

- ・国の対策・政策の不備や遅れを補い、先進的・積極的な都政を続けていくのか  
そのいずれを選択するか選挙だと考えています。

私たちは、国の無策・不作為・不備を補い、全国に先駆けた先進的・積極的な都政を行って参りましたし、これからも続けて参ります。

頼れない  
ふるくておそい国を  
はやくてあたらしい東京が動かす

頼れる

—— 都民の命とくらしは東京が守る ——

### 3つの柱

- 1 「爆速」ワクチン接種で  
経済活動再開へ
- 2 都民を守る  
「都民ファースト・ケア」
- 3 あらゆる事態を想定すべき  
国が強行開催するならば  
東京オリパラ大会は  
最低でも「無観客」

### Q3 先進的な都政というのは、これまでの具体的な政策で言うところのどのような点ですか？

A 後手後手に回った国の新型コロナ対策（前回インタビューの Q10）のもと、私たちは都議会・都政で、「協力金」の創設、医療体制・検査体制の拡充、感染症法・特措法の改正提言、ワクチン接種の迅速化、東京版ニューディール（大規模 2 万人雇用創出）などを進めて参りました（前回の Q 6、7、8、13）。批判だけに終わらない具体策です。

また、この 4 年間、

- ・健康増進法を補う 東京都受動喫煙防止条例・子どもを受動喫煙から守る条例
- ・児童虐待防止法を補う「体罰禁止」を全国に先駆け明記した 子供虐待防止条例
- ・法律が今も進まない「LGBT 差別禁止」を明記した 人権尊重条例
- ・選択的夫婦別姓を求める請願の可決

なども、まさに国の政策の不備や遅れを補う積極型の都政です。なお、これらの中で都議会自民党が反対した議案等については、前回インタビューの末尾の表をご覧ください。

こうした先進的な都政は、小池知事及び都議会第一会派の都民ファーストの会がなければ、実現できなかったと考えます。また、弁護士である私 岡本こうきの強み が大いに発揮されたと考えます。

### Q4 北多摩第二（国分寺市・国立市）選挙区の候補者における争点は何ですか？

A 各党派ごとに国政・都政に対するスタンスが異なると思います。

<https://tokyo.go2senkyo.com/2021/senkyoku/40101>

また、具体的な点では、ワクチンについて、各候補者にかなり温度差があるように感じますし、オリンピック開催の是非についても考え方が異なると思います。

### Q5 新型コロナのワクチンに関する考えは？

A 都民ファーストの会は、経済活動再開へ向け「爆速」でワクチン接種の体制を整備することを政策の第一に掲げています。希望する都民が安心かつ迅速にワクチン接種を受けられる体制整備が重要です。

私は、科学的データに基づいて、高齢者・ハイリスク者には積極論、若年者には慎重論です。他方で、無条件・無批判にワクチンを推奨する政治家や、逆に、消極的・否定的過ぎる政治家もいます。この選挙の各候補者の考えは J C ネット討論会をご覧ください。

<http://tachikawajc.or.jp/?p=5048>

の中の <（第 2 部） 討論テーマ① コロナ対策について >

<https://www.youtube.com/watch?v=lygB9-7QqhY&t=0s>

の動画の 14 分 20 秒～をご覧ください。

## Q6 オリンピックに関する考えは？

A 岡本こうきは、1.再延期、2.無観客、3.有観客で感染対策、の順位で考えてきました。詳しくは、前回の Q 12 をご覧ください。再延期が現実的でなくなった現在では、「無観客」開催を求めています。中止の意見や主張があることは承知しておりますが、私は責任ある立場の議員として、現実的かつ最善妥当な方策を引き続き検討して参ります。

また、IOC・組織委員会・東京都などに対しても、引き続き、都民の納得と共感が得られる説明を求めて参ります。

## Q7 岡本さんは4年前に突然、都議会議員になりました。それまで政治家ではなかった立場から政治の世界に飛び込んで、どう感じましたか？『こんな政治家にはなりたくない！』といった感想などもありますか？

A 色んなタイプの政治家がいたと思いました。政策通だったり、地元密着だったり。また、党派によって、傾向に違いもあるなどと思いました。

これまで見聞きした中で、私は『こんな政治家にはなりたくない！』と感じるタイプもありますね。例えば、

- ・政策議論ができない、制度の勉強しない、単なる役所との口利きタイプ
- ・現実的な対案なく、無責任な批判のみのタイプ
- ・データや根拠を欠いた感情論での言動に流れるタイプ
- ・一部の人々や特定の組織の代弁者
- ・政治家業に染まり都民目線や民間視点から乖離している
- ・傲慢・横柄・威圧的なタイプ
- ・いい顔や口先だけで、不誠実なタイプ など。

都民ファーストの会には比較的少ないように思いますが、党によっては、多くいると感じることがあります。

私は、初心を大切に、上記のような政治家にはならないように心がけています。

## Q8 他の立候補者については、どのように見えていますか？

A 今回の選挙では、私は「現職」（都議会議員4年経験）ですが、他の立候補者3名は、市議会議員を10年経験されているようです。

先ほど述べたタイプの政治家のどれかに該当しそうな立候補者が複数いますね。先のJCネット討論会でもそう感じましたし、取材記者の方、あるいは、本人に近い関係者からそういう情報も聞き及んでいます。

有権者の方々には、注意深くご判断していただきたいと思います。

## Q9 改めて、岡本さんから有権者へのメッセージをお聞かせください

A まずは、世代ごとの投票率（次頁グラフ）の差によって政策・政治が歪むことのないよう、どなたも皆さん投票に行ってください。

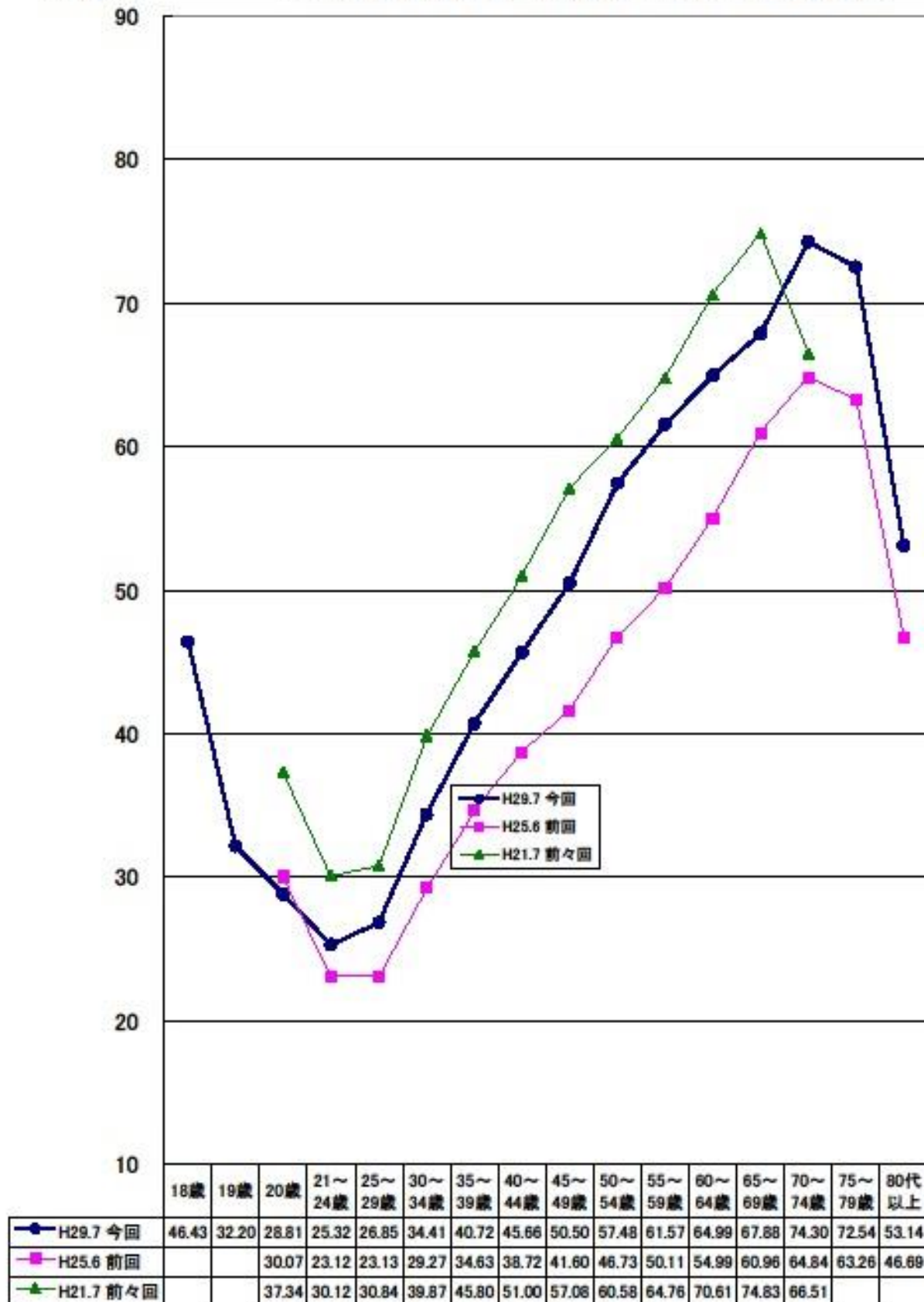
<https://www.senkyo.metro.tokyo.lg.jp/election/nendaibetuchousa/togi-nendaibetu2013/>

その上で、みなさんの真に「役に立つ」候補者を選んで投票してください。最もお役に立てる都議会議員を選んでください。

私はその自信と覚悟があります。

(単位: %)

### 年代別推定投票率一覧(東京都議会議員選挙)



※前々回の70～74歳欄の数値は、70歳代以上の数値である。